

学校施設の耐震化等に関する説明会

- 1 開催日時 平成22年6月14日（月）午後8時～午後8時20分
- 2 開催場所 京丹後市立田村小学校 ランチルーム
- 3 出席者 米田教育長、藤村学校教育課長、服部学校教育課主任 計3名
地元出席者 15名
- 4 内 容
 - (1) あいさつ（中山市長、米田教育長）
 - (2) 資料説明 京丹後市立学校施設の耐震化方針（案）
 - (3) 質疑応答
- 5 要 旨
吉岡教育次長、京丹後市立学校施設の耐震化方針（案）説明

質疑応答

(出席者)

再配置の話をごちの方にもって来られるのは、7月か8月ぐらいということでもいいのですか。田村地区については、一分が小学校は田村小学校で中学校は高龍中学校となっていますけど、前回の説明会に出席したのですが、その時には一分の区長さんも来られており、一分の意見に基づいて対応すると話されていました。聞くところによると一分としては、まだ一向に動いておられない中で、一分への対応をどういうふうにとっていただけるかなという確認です。

(教育長)

一分につきましては、地元の方のご意見を重視していきます。市の通学区域の条例の変更は可能ですが、再配置の答申をいただいている中で、中学校、特に高龍中学校は生徒が少なくてクラブ活動もできないので1校にしてほしいという声もあります。1校になったとしたら、それは関係なくなります。平行して現在のようにいく場合は、一分の方の意見も聞きながらいくこととなります。学校を割らずに、久美浜の方がいいということであればできますが、通学バスのことなどいろいろあり検討していかなければなりません。去年の説明会の時に、一分の人は全部、署名を集めると言っておられました。今後、入学される方も、「そんなことはいやだ」と言われたら困りますので、全員の意見が揃ったら踏まえさせていただくという答えをしておりました。

(出席者)

一向に動いておられない。区の方でも、区長さんが毎年変わるので話がきちんと伝わっていない。

(教育長)

7月になって、一分については、絵を見ながら相談させてもらいます。

(出席者)

中学校は2校のまま置いていくという話だったが、1校にというような話が出たのです

が、実際、そんなことは有り得ることなのでしょうか。

(教育長)

平成19年の7月から、検討分科会で話をしてもらっていただきました。「中学校1校、その方がクラブもできる」という、特に、高龍校区の方から意見があつて、案としては、しばらくは継続して2校でいく案と、26年度に統合する案の両方を示させていただきました。

(出席者)

別々に言う、話ではありませんでしたか。

(教育長)

1案が別々、期間を見て一緒にするにしても、当初は別々という両方がありました。議会でも、久美浜中学校の方は主にクラブの問題を取り上げておられましたが、「1校にすべきだ」という声が多いという意見は聞かせてもらってありました。

(出席者)

中学校の話ですが、合併になったら、その跡地が使えるという話も出てきます。佐濃小学校も、全然だめな状態になっているので、跡地も早急に考えないといけない。

(教育長)

具体的に進んでいないので、言えませんけれど、そういうことも言っておられました。久美浜中学校に行くとするれば、高龍中学校が空きますので、そこを小学校にしたら、狭い学校に詰め込まなくても、十分教室の確保ができるという意見も聞かせてもらってあります。

(出席者)

耐震結果が公表されていますが、これについて希望があれば誰でも見せいただくことができるでしょうか。

(教育長)

数値で書いてありますけども、専門家に聞くと、面積に応じてコンクリートを抜くそうです。何箇所を抜くかは面積によって決まり、抜いた中の一番悪いところを示すということで、一箇所の数値が0.3だからと言って、全てそれ以下とは限らないということです。0.18の数値がありますが、0.3以下はみんな同等と見たらいいということです。計測不能というのがありますが、再起不能という意味でないということです。

(出席者)

耐震結果が出たことにより、昨年の説明会で示された学校再配置の組み合わせが、何らかの事情で変更になったり、また中学校の話も出ていますが、地区等からの要望に対応することができますか。

(教育長)

今までお示したものでいきたいと考えておりますが、国の制度が変わる以前に描いた絵であります。耐震結果等をもとに市の財政のことも考え、学校を作るのは市長部局のことになりますので、そちらと十分調整をしながら考えていくということになります。早急に検討していかなければならない時期にきていると思います。

(出席者)

私たちが考えた最終的な大きな目標があって、久美浜町内だったら永留に高龍保育所と合併した保育所があります、学校もあの場所に小学校・中学校・高等学校を集めることが望ましいかなと思っています。市の財政が許すなら、そこに大きな学校を建てて、集めることの要望が聞き入れてもらえるか、それとも現在の校舎を有効に使っていくというようなお考えなのか、その辺はどうでしょうか。

(教育長)

両方ともあります。国の補助があるのは、耐震診断、一定の数値より低い建物の補強のみということになっております。地域によって、例えば3つ学校が残ると、3つの学校が改修していたら1つ分ぐらいになるとか、一緒になると土地の確保をしなければならない場合があります。少々高くても、将来的に「長持ちするから得ではないか」ということもあります。現在のところ現校舎を使っての改修、また必要ならば増築をしていくことを基本として考えております。

(閉会 20 時 20 分)